

高齢者参加型エコシステムの構築 ～河内長野市さま課題解決に向けた検討～

<目指すところ>

高齢化による買物困難など地域が抱える課題を解決するために
高齢になっていく**住民自ら**、時には**役務の提供者**となり、時には**受益者**となって
取組みに参加し地域内で持続的に**循環する仕組み(エコシステム)**を構築



<河内長野市さまの課題・取組みテーマ>

オールドタウン化の進行する南花台エリアは、今後も「丘の上の生活拠点」として
引き続き住民たちの生活の拠点として期待。これまでも健康寿命延伸や元気な住民の活躍の場づくりに注力。

南花台エリアを対象に“地域コミュニティ”を通じて高齢者の抱える課題解決に取り組む

テーマ1 高齢者の健康維持のための取組み

課題① 最初から適した診療科が分からず負担。コロナ禍での受診控え。
課題② 検査結果・治療歴等を伝えられず的確な診断につながらない恐れ。

提案① AI 受診相談システム

スマホやパソコン等から入力した内容に応じて疾患の可能性をチェック。

医療受診が必要な場合、市内の適切な受診先等を提示。

→高齢者が自宅等で症状を入力し、近隣の受診先やタイミングを調べることができ適切な受診行動につながる。

提案②ヘルスケアパスポート ～健康・医療データのプラットフォーム～

医療情報や検査データ、日々の健康情報を双方向で提供。

→高齢者自身の診察結果等がスマホで確認可能。日々の健康状態を家族に共有できるため安心。また、医療機関同士での情報共有も可能となり、一貫した適切な治療が提供できる。

更なる展開

- 「ヘルスケアパスポート」を核に患者と医療とをつなぐ「AI 受診相談システム コビー」を組み合わせ、地域住民と医療機関をシームレスにつなぎ、地域医療の質の向上を目指す。
- エリア全域に導入できれば、患者→医療機関→基幹病院のシームレスな医療連携の実現が可能に。
- 高齢者の生きがいづくりのためのアバター共生コミュニティの開発実験

テーマ2 高齢者の移動手段確保のための取組み

課題①ラストワンマイルの課題解決のため、グリーンスローモビリティ「クルクル」導入に向け実証中。事業継続においては高齢化の進展による担い手不足が課題となっている。

課題②「クルクル」などの事業を継続させるためには住民負担をできる限り低減させるためシステムの低コスト化が課題。

提案①非接触充電システム、自動運転に向けた実証

→自動充電により必要な人手を削減、コスト減も可能。また、安全センサー活用等により安全性の高い自動運転走行の実証実験も可能。将来的には実導入により人手の大幅な削減が可能。

提案②モビリティの低コスト化

→(株)モビリティワークスの低価格電動モビリティを導入



更なる展開

- 災害時に弱者となる高齢者のための防災機能向上への活用
→非接触充電システムと太陽光発電+蓄電池を組み合わせゼロエミッションでの自動充電。災害時は高齢者のいる避難拠点に移動し電気を供給。
- 高齢者と若者世代の交流への活用
→高齢者も活用可能な、多様なモビリティの導入。自動運転低速モビリティ iino の導入により車内外のコミュニケーションの促進。